

同窓会 年頭ご挨拶 -2015年法人化に向け

同窓会会長 久保 憲司



平成27年の新春に当たり年頭の御挨拶を申し上げます。

いよいよ、大学校法人化の具体的な動きが学内でも見える形になってまいりました。本年は、地域交流棟の建設が急ピッチで進められる中、フィールドワークやゼミナールに軸足を置いた全国的にも類を見ない先進的なカリキュラムを取り入れた新生「奈良県立大学」へ大きく変貌を遂げる年になります。全国から就学する学生諸君も日々姿を変える大学に、大きな期待を抱くことでしょう。

私ども同窓会も、法人化に伴う数々の変化にフレキシブルに対応しながら、同窓生間のネットワークの拡大と大学当局や在学生とのコミュニケーションの強化など、従来行ってきた活動にさらに工夫を凝らし、帰属意識の醸成と在学生に対する同窓会の存在価値をPRする必要があります。

そのためには、教授陣、就職支援部門、学生会や秋華祭実行委員会・各クラブをはじめとする在学生団体などと定期的な会合を持ち、互いのニーズを良く理解し合い、同窓生の企業者や求人情報の紹介・就職セミナー・クラブ活動や秋華祭応援など、無駄のない有意義な取り組みをしなければなりません。

一方で、同窓会役員体制の強化が、喫緊の課題となっています。役員の高齢化が進み、特定の人に負担がかかりがちな現状で、本年は特に「時間と行動力のある新入会員の発掘」に力点を置きたいと考えています。さらに、同窓会活動が犠牲的なボランティア精神にのみ立脚しているのではなく、活動自体に面白味と満足感があるものにするために知恵を搾って参りたいと考えております。

最後に、会員各位のご多幸をご祈念申し上げ、同窓会を代表しての御挨拶とさせていただきます。

佐保川清掃について

-2014年5月18日(日)

報告：同窓会事業部 井上 光博



平成26年5月18日(日)第55回佐保川清掃が実施され、県立大学同窓会からも会長をはじめ数名参加しました。「みんなの力で佐保川をきれいに！」と清掃活動に励みました。この清掃活動は、地域の子どもたちからお年寄りまで、総勢約1,200名という多くの方々によって、昭和35年から始められた半世紀を超える歴史ある取組みです。当初は400名程度の参加から始まり、当時の佐保川はまさにドブ川のように、冷蔵庫、洗濯機、自転車等が捨てられゴミ捨て場同然の有り様だったそうです。そのような中、万葉集にも詠われた歴史ある佐保川に清流を取り戻そうと活動は続けられ、今では川辺に子ども達が集い、素晴らしい桜並木に代表される地域に愛される川となり、京都の鴨川のようになればと思いました。

県立大学にも「観光創造」のコモンズがあり、美しい風景や由緒ある寺社など「観光」の感動を創出するための学びの場があります。地域の自然、景観、歴史文化などの価値を尊重し、地域の観光力をいかに発信していくのが求められています。県立大学の地元から観光のポテンシャルを引き出す中で、自然や景観を大切にする実践として学生が積極的に参加できたらと思いました。

今後も同窓会としては、地元根差した活動として、地元から愛される「奈良県立大学」を発信していきたいと思っておりますので、同窓会活動への積極的な参加をお願いします。



『奈良県立大学』 独立法人化後の大学について

—2015年大学独立行政法人化に伴う、大学の未来像展望を伊藤学長に寄稿戴きました。—

奈良県立大学 学長 伊藤 忠通様

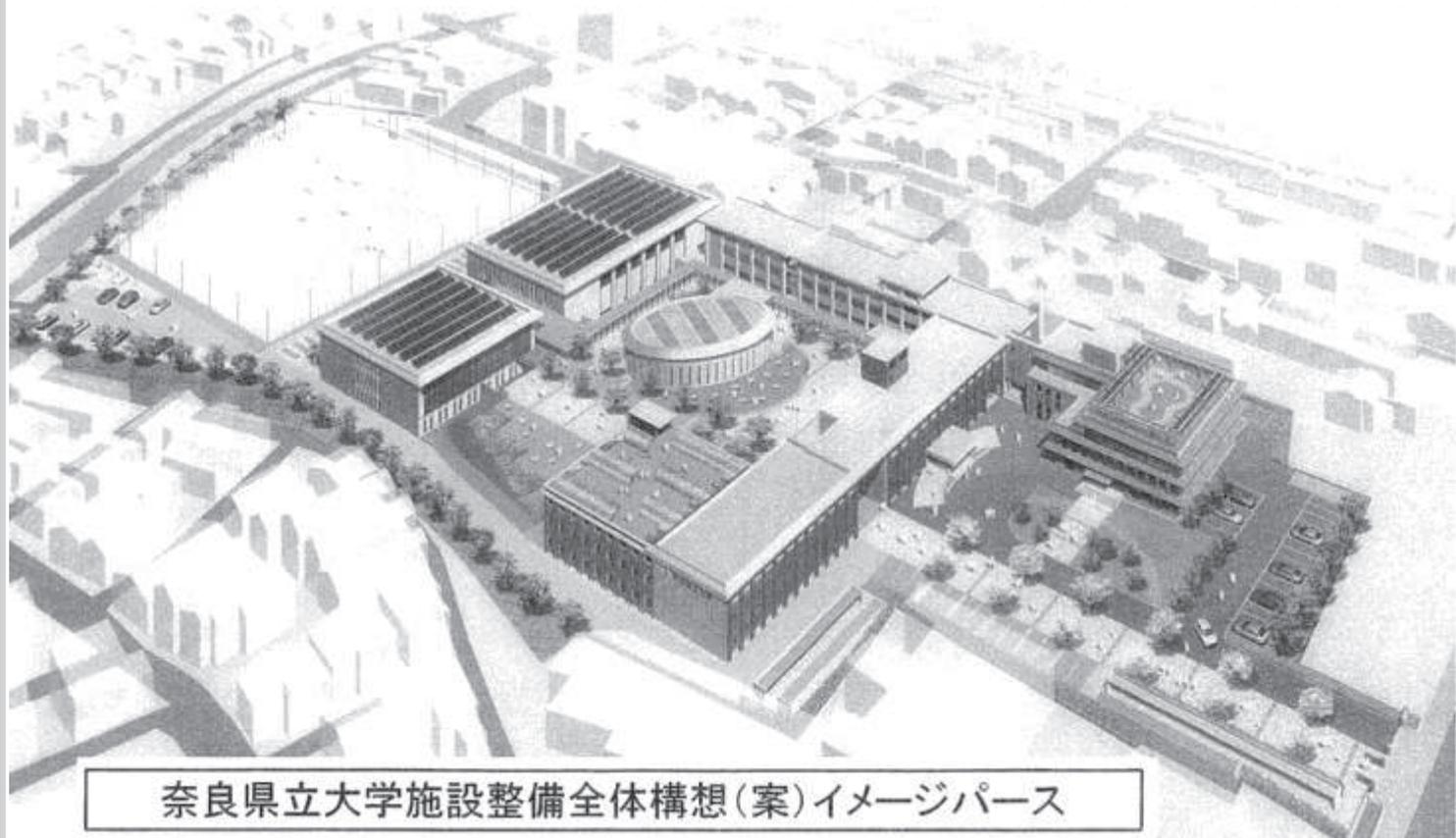


平成27年4月より本学は「公立大学法人奈良県立大学」となります。

昭和28年に奈良県立短期大学として創設以来60年余の歴史を振り返ると、平成2年には約40年続いた短期大学時代から、奈良県立大学（商学部）として4年制大学の時代へと転換しました。

教育内容は引き続き商経系でしたが、平成13年には、本学がこれまで培ってきた知的財産を活かしながら、時代のニーズに対応した新たな教育を目指して、改組転換により地域創造学部を開設するとともに、大学の名称も奈良県立大学と変更しました。また、平成19年には、短期大学創設以来、一貫して行ってきた夜間教育から昼間での教育に転換しました。

日本の大学教育のあり方が問われる中、本学は平成26年度から地域総合学科と観光学科の2学科制を地域創造学科の1学科制とし、画期的な教育システムである「学習コモンズ制」を導入することによって大学教育の改革を行いました。同時に大学の組織改革として平成27年度より法人化し、「公立大学法人奈良県立大学」を設置することになりました。現在86ある日本の公立大学のほとんどは、すでに法人化されており、その多くは学長・理事長一体型となっていますが、本学は学長・理事長分離型の公立大学法人となります。法人化後は、大学教育における質の保証と向上はもちろんのこと、大学運営におけるガバナンスの確保を目指します。



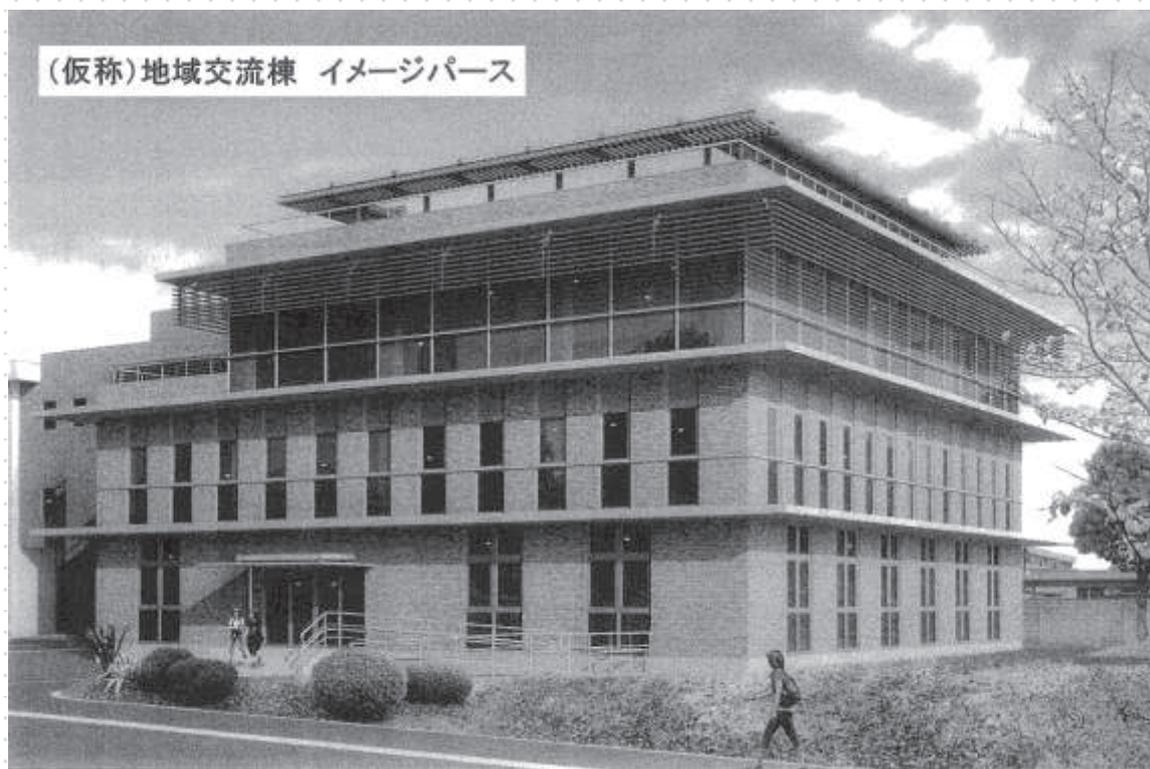
奈良県立大学施設整備全体構想(案)イメージパース

具体的には、6年間の中期目標を定め、教育、研究、社会貢献、国際交流、大学運営の各分野において、個別の目標や数値目標を設定し、それらの目標の達成に向けて取り組みます。そのためには、ハード・ソフト両面にわたる環境整備が必要になります。まずハード面では、本学の施設は老朽化しているため、一部耐震補強をして使用しますが、数年をかけてほぼ全面的に建て替える計画です（図面参照）。

一方、ソフト面でもっとも重要なのは教授陣の充実です。現在の専任教員数は29名ですが、平成27年には4名の増員、その後も若干名の増員が予定されています。法人化後も1学年の入学定員は150名のままとし、収容定員600名という小規模大学で、徹底した対話型教育を中心に、一人一人の学生を大切に育てるという方針で人材を育成します。

国際交流においては、すでに中国、韓国、台湾、インドネシア、カナダ、オーストラリアの大学と交流協定を結んでおり、今後も、ベトナム、アメリカ、イギリス等の大学とも交流協定を結ぶ計画です。社会貢献は、本学に与えられた公立大学としての使命でもあり、法人化後は、これまで以上に、教育・研究を通じて地域社会から信頼される大学を目指します。

これからの大学について同窓会員の皆様にお伝えしたいことは、まだまだあるのですが、紙面の制約もあり、今後の同窓会報、大学のホームページ、ホームカミングデイ等を通じて本学の活動を見守っていただき、ご支援・ご協力をいただければ幸いです。



広告募集中

会報に広告掲載して頂ける企業・団体を募集しています。詳細は、同窓会事務局広報部までお問い合わせ下さい。
npu_dousoukai@yahoo.co.jp

同窓会事務局お知らせ

- 同窓会では**役員募集**をしています。同窓会活動の各種事業実施に向けてお手伝い頂ける方の参加をお待ちしています。(在学生も歓迎)
- 広報部では会報の記事寄稿をして頂ける方を募集しています。会員の皆様の交流の場としてご利用下さい！
▽事務局連絡先 直接役員、又はEメール
npu_dousoukai@yahoo.co.jp までご連絡ください。

就職支援講演会 報告

報告：同窓会副会長 事務局 高島 邦子

平成26年7月21日（日）の午後2時40分から4時まで、大学3号館1階の協働サロンにおいて、在学生を対象に初めての就職支援講演会を開催しました。

他の大学の同窓会においても重点を置いている活動のひとつが在学生の就職支援です。在学生が最も関心を持っているのが、就職に役立つ情報と思い、同窓会の事業活動の一環として計画いたしました。

卒業生2名に講師を依頼して、学生が求める生の情報を伺える機会を設けました。大学卒業生で医療機器会社副社長の楠本さんに、採用する側からの視点でどのような学生を求めているかを講演して頂きました。採用条件として「自らの意思を持ち行動できる」、「失敗を恐れず挑戦する」、「柔軟な発想を求める」等が基準になるという内容でした。これはどのような業種にも共通することと思われま



その後、大学卒業生で銀行勤務の丸野さんに加わって頂き、座談会に移りました。丸野さんは入社3年目の若手銀行員として、現在の仕事をしていく上で心掛けていることを話して下さいました。「日本語をしっかりと話し、しゃべり過ぎない」、「投資信託、生命保険、債券などの取扱商品について勉強を続ける」、「資格取得を目指す」ことなどで、就職後も学び続けることが大切だという心構えをアドバイスされました。「学生の時に他人と違うことをいろいろ経験しておく、面接に生きる」との発言に学生も熱心に耳を傾けていました。



との発言に学生も熱心に耳を傾けていました。

学生との質疑応答では、卒業生と在学生という関係で、企業の採用側と、大学を卒業して数年しか経っていない若手社員の本音を聞くことができ、いい経験になったと思います。

講演会終了後、アンケートを実施しました。就職希望業種は官公庁、金融、流通・小売り、マスコミ、メーカー、観光と多岐に亘りました。就職希望地域は奈良県が1名、大阪府、京都府、愛知県、三重県で



した。講演会や座談会の感想は、全員が満足・どちらかと言えば満足という結果でした。学生からの感想では、「今まで視野になかった医療分野の話を知ることができて、興味を持った」、「距離が近くて、学生からの質問に丁寧に回答して頂いた」、「本音で語られている感じがしてよかった」という意見が出され、この初めての企画は成功できたのではないかと思います。

大学の学生課や就職支援室との連携がうまくいかず、女子学生4名と男子学生2名、計6名の出席でした。学生を集められなかったという反省点に立って、次回以降はもっと大勢の学生に参加して頂き、就職活動の一助を担うように内容を検討し、継続開催していきたいと考えています。卒業生の皆さまで、在学生のために講演をして下さる方、当日のお手伝いをお願いできる方は、是非、同窓会事務局までご連絡をお願い致します。少数の役員では、幅広く活躍されている卒業生の皆さまを把握できかねております。ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



第3回ホームカミングデイ 2014年10月5日(日) 午前11時～

昨年は節目の年ということもあり、60周年記念事業と統合しましたが、本年度は恒例のホームカミングディを例年通り開催致しました。毎年、旧知の皆様のお顔を拝見しながら今の大学を知ってもらう一日となっています。

報告：同窓会監事 広報部 曲渕 和子



夏が終わり、朝晩過ごしやすくなってきました10月5日の日曜日、沖縄に台風18号が接近している不安定な気象状況の中、恒例となりました第3回ホームカミングディが実施されました。参加者は総勢60名、その内訳は大学関係者4名、短大卒業生36名、商科大卒業生3名、県立大卒業生9名、役員8名です。11時過ぎに、横林理事の司会でホームカミングディが始まりました。



久保同窓会長からは、同窓会会報の名称が「ふなはし」と決定した事、会報のさらなる充実を図るため、発行回数を年2回から年1回へ変更する事、また、今後は同窓会として名簿の管理だけではなく、在学生への支援等にも積極的に協力するため、同窓生の皆様にもご協力をお願いしたいと、3点の報告がありました。

伊藤学長からは、短大時代から本学で教鞭をとってこられて、先生の自己紹介から始まり、今後も大学を良い大学に育てて活きたいと、来年度から大学が変化して行く状況のお話がありました。平成13年から大学が、地域創造、観光と街づくりを研究する大学へと変化し、「地域の大学」を目指しています。具体的には、学内のプールがあった場所に、地域交流棟が建設され、2015年3月竣工予定です。今後数年をかけて、大学内の校舎を建て替え、地域の方々にも活用していただける大学を目指していかれるとの事です。

第1部最後に、在校生から11月2日開催の「秋華祭」開催の案内があり、現在の学園祭の取り組みを、語ってくれました。第1部の講演会は、午後12時過ぎに終了し、活動する大学の現在と、法人化に向けた取り組みなどを、同窓会会員同士共有するできた、意義のある時間となりました。



講演終了後、法人化に伴い改修工事があるため、最後になるかもしれない三号館での集合写真を撮り、にこやかに第1部を終了することができました。

30分休憩の後、会場を1号館の食堂に移して、第2部、懇親パーティーを行いました。

乾杯の挨拶や来賓の先生のご挨拶をいただき、宴は和やかに盛況に進みました。例年、大学生協同組合の協力を得て、同窓生の方々のお口に合うものを提供していただいております。本年度は、握りずし・サンドヴィッチ等、豪華な料理を準備していただきました。懐かしい母校に戻って、懐かしい顔を見ながら談笑する同窓会会員の皆様の笑顔を見ることで、同窓会スタッフ一同、日頃の同窓会運営の忙しさにもやりがいを感じ、自然と笑顔がこぼれます。

皆さまの和気あいあいとした談笑の風景を後に、3時ごろ懇親パーティーは終了しました。

今回で第3回目のホームカミングディですが、毎回参加していただいております方、今回初めて参加していただいた方、ご参加いただきまして、ありがとうございました。来年度の皆様のご参加を同窓会スタッフ一同、楽しみにしております。



本年度も秋華祭に同窓会として参加し、現役学生の支援となる模擬店を企画できた楽しい一日となりました。

平成26年11月2日、奈良県立大学の学園祭である、秋華祭が祭実行委員会主催により校内で開催され、同窓会も毎年の恒例行事として参加いたしました。



昨年より同窓会は、各学生さんたちが行く模擬店を支援するよう、学祭実行委員会の方々と打ち合わせを事前に済ませ、抽選補助券を配布。模擬店で商品を100円ごとに1枚、5枚で1回抽選の、大抽選会で景品を持って帰っていただく模擬店を企画。抽選会目当てに模擬店に通っていただけるという同窓会の意図する学生支援を担えた企画となりました。

大学法人化の改修工事の中、同窓会は体育館にて模擬店を開始。この日はせっかくの祭であるにもかかわらずお天気が優れませんでした。抽選会は、一等賞の新米（同窓会長産）、二等以下奈良名産品等、ハズレ無しの賞品を目当てに、在学生会や地域の沢山の方々に参加をしていただきました。

何度も足を運んでくださるのに四等しか当たらない方や、沢山溜めた抽選券で小さなお子さんが無欲にくじを引いて人気商品を当てたり、一等賞のお米を当てた幸運な学生さんは、「お米パーティーをする！」と喜びながら楽しそうに友人と笑っておられました。



他にも会場には「まんとう君」が来場し、幼児をはじめ大人たちも拍手喝采で、会場を盛り上げて頂きました。

昨年も盛況だったのですが、今年は予定時間より早く終了するほど、抽選会は大盛況のうちに終了することができました。来年はさらに多くの方に参加して頂けるように、賞品の充実や抽選券の配布量など、事前準備をさらに検討して、学園祭に足を運んでくださる方々へ、学生支援の輪になるよう準備して行きたいと思います。



Webサイト『奈良県立大学同窓会』で検索。 <http://奈良県立大学同窓会.jp> E-mail : npu_dousoukai@yahoo.co.jp

編集後記

本年度より、同窓会会報の内容充実及び効率化のため、発行回数が年2回から年1回へ変更となります。発行当初は試行錯誤も多く、A4用紙1枚で裏表の新聞形式でしたが、60周年や大学の変遷等お伝えすることの内容も増え、紙面を横書きへ変更する等、読みやすい紙面作りのほぼ基礎の形が出来ました。発行回数が減った分、紙面や内容の更なる充実を図るべく、広報部は邁進しているところです。

来年度の独立行政法人化に伴う大学変遷の様子や、事業部の新事業である就職支援講演会の様子等、同窓会活動の中味をもっと知っていただくためには何を伝えていく必要があるのかを、広報部一同考えて参ります。同窓会の会員の皆様には、在学生支援に繋がる何らかのお手伝いをしていただけるような情報を提供できるよう、模索していきます。何か具体的な案件等、どのような内容でも結構です。ご意見・ご感想をお寄せいただけると幸いです。

▽同窓会Eメール npu_dousoukai@yahoo.co.jp